



マネージャの削除

Unified CM Assistant のマネージャを削除しても、Cisco Unified Communications Manager は、そのマネージャをユーザとしてディレクトリに保持します。たとえば、*rmartinez* というユーザ ID を持つマネージャに 2 人のアシスタントがいて、それぞれ *dbell* と *jkent* というユーザ ID を持つ場合、マネージャとしての *rmartinez* を Cisco Unified Communications Manager データベースで削除すれば、*rmartinez* と両方のアシスタントとの関連付けを解除できます。削除した後も、ディレクトリには *rmartinez* がユーザとして残ります。

Cisco Unified Communications Manager からのマネージャの削除

Cisco Unified Communications Manager データベースと LDAP ディレクトリから、マネージャと、そのマネージャとアシスタントのアソシエーションをすべて削除できます。[マネージャの削除 (Delete Manager)] オプションにアクセスするには、[一括管理 (Bulk Administration)] > [マネージャ / アシスタント (Managers/Assistants)] > [マネージャの削除 (Delete Managers)] を選択します。

削除する既存のレコードを検索する方法には、次の 2 つがあります。

- 「クエリーを使用したマネージャのアソシエーションの削除」(P.32-1)
- 「カスタム ファイルを使用したマネージャのアソシエーションの削除」(P.32-3)

クエリーを使用したマネージャのアソシエーションの削除

Cisco Unified Communications Manager ディレクトリ内にあるアシスタントとのアソシエーションからマネージャを削除する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [マネージャ / アシスタント (Managers/Assistants)] > [マネージャの削除 (Delete Managers)] > [クエリー (Query)] の順に選択します。[マネージャの削除 (Delete Managers Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 最初の [検索対象: マネージャ、検索条件 (Find Managers where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。
 - [ユーザ ID (User ID)]
 - [名 (First Name)]
 - [ミドルネーム (Middle Name)]

- [姓 (Last Name)]
- [部署名 (Department)]

2 番目の [検索対象 : マネージャ、検索条件 (Find Managers where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる (begins with)]
- [が次の文字列を含む (contains)]
- [が次の文字列と等しい (is exactly)]
- [が次の文字列で終わる (ends with)]
- [が空である (is empty)]
- [が空ではない (is not empty)]

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント データベースに登録されているすべてのマネージャを検索するには、検索テキストを入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。



(注) マネージャを複数の部署から選択するには、このフィールドに複数の部署を入力します。たとえば、部署 12 と部署 24 からマネージャを選択するには、3 番目のボックスに **12, 24** と入力します。削除操作を 2 回繰り返す必要はありません。

ステップ 4 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[絞り込み (Search Within Results)] チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから [AND] または [OR] を選択して、ステップ 2 ~ 3 を繰り返します。

ステップ 5 [検索 (Find)] をクリックします。

検索されたマネージャのリストが、次の項目別に表示されます。

- [ユーザ ID (User ID)]
- [名 (First Name)]
- [ミドルネーム (Middle Name)]
- [姓 (Last Name)]
- [部署名 (Department)]

ステップ 6 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 7 マネージャを即座に削除するには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。マネージャを後で削除するには、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ 8 [送信 (Submit)] をクリックして、選択したマネージャを削除するジョブを作成します。

ステップ 9 このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

ジョブの詳細については、第 82 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、「BAT ログ ファイル」(P.83-3) を参照してください。

追加情報

「関連項目」(P.32-4) を参照してください。

カスタム ファイルを使用したマネージャのアソシエーションの削除

テキスト エディタを使用してカスタム ファイルを作成し、削除対象のマネージャのアソシエーションを検索できます。

始める前に

1. 削除するマネージャのユーザ ID を指定したテキスト ファイルを作成します。
2. ユーザ ID は、1 行に 1 つずつ指定します。
3. カスタム ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、「ファイルのアップロード」(P.2-3) を参照してください。

カスタム ファイルを使用してマネージャのアソシエーションを削除する手順は、次のとおりです。



(注) 削除トランザクション用に `bat.xlt` として作成したトランザクション ファイルを挿入またはエクスポートしないでください。代わりに、削除が必要なマネージャのアソシエーション レコードの詳細情報が設定されたカスタム ファイルを作成する必要があります。削除トランザクションには、このファイルしか使用しないでください。このカスタム削除ファイルには、ヘッダーを指定する必要がありません。マネージャのアソシエーション ID の値を入力します。

手順

- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [マネージャ/アシスタント (Managers/Assistant)] > [マネージャの削除(Delete Managers)] > [カスタムファイル(Custom File)] の順に選択します。[マネージャの削除(カスタム) (Delete Managers Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [削除対象: マネージャ、検索条件(Select managers where)] フィールドで、識別子 [ユーザ ID(User ID)] を選択します。
- ステップ 3** 2 番目のフィールドである [カスタムファイル(Custom File)] ドロップダウン リスト ボックスで、このトランザクション用に作成したカスタム ファイルの名前を選択します。
- ステップ 4** [検索(Find)] をクリックします。
検索されたマネージャのリストが表示されます。
- ステップ 5** [ジョブ情報(Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** マネージャを即座に削除するには、[今すぐ実行(Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。マネージャを後で削除するには、[後で実行(Run Later)] をクリックします。
- ステップ 7** [送信(Submit)] をクリックして、選択したマネージャを削除するジョブを作成します。
- ステップ 8** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[ジョブスケジューラ(Job Scheduler)] ウィンドウを使用します。

ジョブの詳細については、第 82 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、「BAT ログ ファイル」(P.83-3) を参照してください。

関連項目

- [「マネージャとアシスタントのアソシエーションの削除」 \(P.31-1\)](#)
- [「Cisco Unified Communications Manager からのアシスタントの削除」 \(P.33-1\)](#)
- [「BAT ログ ファイル」 \(P.83-3\)](#)
- [「ファイルのアップロード」 \(P.2-3\)](#)
- [「ジョブのスケジュール」 \(P.82-1\)](#)